

# 佐藤 みき

## 議会報告



佐藤みき事務所

ホームページ「佐藤みき.net」

春を迎え、桜や菜の花が咲き誇る竹田の美しさに毎年の事ながら感動しています。久住高原の野焼きも終わり、緑の草原が待ち遠しいところです。

令和の年明けを慶んでいたのも束の間、思いもよらぬ新型コロナウイルス肺炎の発生。医療・教育・産業・地域社会、あらゆる面で影響を受けています。自分自身、気丈に、そして冷静にこの困難を乗り越え、市民の生活を守っていく決意です。

さて、議員2期目の議会報告をここに申し上げます。一般質問や予算審議等で発言した内容を分野別にまとめました。全議会で一般質問を行っていますので、全ては掲載できません。皆さんの生活に密接に関わる主なものだけを記しています。 (平成29年6月～令和2年3月定例会分)

### 医療福祉

**質問** 高齢者福祉の方針を問う。介護現場の人手不足の対策を。[H29年12月]

**市答弁** 地域包括ケアシステムを構築する。介護職員初任者研修でヘルパー人材を育成する。

**質問** 市外でしか予防接種できない難病児は予防接種費用補助の対象外となる。補助措置を講ずるべき。[R元年3月]

**市答弁** 令和元年4月から補助の適用とする。

**質問** 市立こども診療所の方針は。[H30年12月/R元年12月]

**市答弁** 当面は市の直営とし、指定管理の可能性も含めた運営方法については医師と協議を続ける。

### 教育

**質問** 小・中学校の統廃合について教育長の見解を問う。[R元年9月]

**市答弁** 児童・生徒数の数字だけでは判断しない。子どもにとって望ましい形や地域への影響を考える必要がある。保護者や地域の意見を聞く。

### 防災

**質問** 災害対応型ガスバルクは災害発生時に炊出し器具や電源として活用できる。大規模停電に備えるため災害対応型ガスバルクを避難施設に設置すべき。

**市答弁** 施設更新時に検討する。 [R元年12月]

## 農業

**質問** カボスの生産量と農家戸数は。農家支援を。[H29年12月]

**市答弁** 平成28年現在143戸、3年間で12戸減少。生産量は444t。苗木助成。

**質問** 農業用ハウスの除灰にドローンを活用してはどうか。[R2年3月]

**市答弁** 費用や課題を調査し、検討する。

**質疑** 農地災害事業の残り件数とその理由は何か。[R2年3月予算委]

**市答弁** 13件。建設事業の従業員の高齢化と人手不足が原因の一つと考える。

## 林業

**質問** 放置され手入れされない森林がある。獣害や災害の原因となる。

森林管理を進めるべき。[R元年9月]

**市答弁** 新しく森林環境譲与税が始まる。国から森林の調査・保全の費用が来る。林業の人材を育成し、保全に努める。

## 商工業

**質問** 竹田本町の再生をどうするのか。[R元年6月]

**市答弁** 「まちの駅」の整備を計画している。まちづくり会社と商工会議所、市民有志が主体となり、空き店舗を活用して集客施設を作る構想がある。また、中心市街地活性化計画に沿って過疎対策に取り組む。

## 行政財政改革

【平成30年12月定例会】議員報酬の期末手当（ボーナス）を増額する議案に反対。動議を提出するも、他2名しか議員の賛同を得られず、否決されました。

【令和元年12月定例会】市長・副市長・教育長・職員・議員の期末手当を増額する議案に反対。提出議員と私のみ反対だったため、否決となりました。

市3役と職員は以前から継続して給与を減額していますが、市議会は私が知る限り、議員報酬を見直す議論に至ったことはありません。減りゆく人口に見合った予算規模と議員定数を議論していくべきだと考えます。

議会が身を切る姿勢を示さなければ、行財政改革は進まないと考えます。もちろん人件費だけでなく公共施設に要する費用や、国の交付金も縮小していくことを十分念頭に置き、議会に臨みます。



議員になり7年が経ちました。当初は、単純に「まちづくりがしたい」「女性の意見を市政に届けたい」という思いだけで選挙に出ました。しかし、いざ議員になると、あらゆる分野で市民の困りごと、社会への不安が目にとまるようになりました。

その声を届けることで、皆さんの暮らしがよくなると信じて活動しています。交通支援の「カモシカ号」や児童公園の「たけのこ広場」が、その成果です。

障がい者福祉や地域の過疎化など取り組むべき課題があります。細かく目を配り、だれもが安心して暮らせる竹田市を創って参ります。